

2015中期経営計画の総括

成長の実現と日立の変革



イノベーション

サービス事業を強化し
イノベーションを実現



グローバル

社会イノベーション事業を
グローバルに提供し成長



トランス フォーメーション

業務のグローバル標準化と変化に
迅速に対応する経営基盤の確立

2015中期経営計画の実績

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
	実績 (米国会計基準)	実績 (IFRS)	実績 (IFRS)	実績 (IFRS)	当初目標 (米国会計基準) *1
売上収益	9兆410億円	9兆6,664億円	9兆7,749億円	10兆343億円	10兆円
(調整後営業利益率)	(4.7%)	(6.3%)	(6.6%)	(6.3%)	7%超
調整後営業利益 *2	4,220億円	6,047億円	6,413億円	6,348億円	7%超
(EBIT率)	(4.0%)	(7.2%)	(5.5%)	(5.3%)	7%超
EBIT *3	3,580億円	6,912億円	5,340億円	5,310億円	7%超
親会社株主に帰属する 当期利益	1,753億円	4,138億円	2,174億円	1,721億円	3,500億円超
(営業CFマージン)	(5.7%)	(4.8%)	(6.1%)	(8.6%)	—
製造・サービス等 営業CF	5,034億円	4,608億円	5,864億円	8,431億円	—
製造・サービス等 FCF	250億円	731億円	1,372億円	3,244億円	—

*1 2013年5月16日時点

*2 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

*3 EBIT: Earnings Before Interest and Taxes (受取利息及び支払利息調整後税引前当期利益)

主な成果と今後の課題

成果

- 収益性の改善
- キャッシュ創出力の強化
 - ・運転資金手持日数の改善 (製造・サービス等): 2014年度末81.8日 ⇒ 2015年度末71.6日
- 成長戦略の実行
 - ・海外売上収益比率: 2012年度41% ⇒ 2015年度48% ・サービス売上収益比率: 2012年度30% ⇒ 2015年度38%
- 事業ポートフォリオ改革の実行

	2013 - 2015年度	2016年5月時点計画
M&A	0.6兆円/年 売上増加 米ペンタホ社、伊アンサルドSTS・ブレダ社、米ワウバカ社 等	—
事業再編	0.9兆円/年 売上減少 火力発電システム、空調システム事業での合弁会社設立、日立マクセル再上場	1.1兆円/年 売上減少 物流事業、金融サービス事業 等

課題

- 市場環境変化への迅速な対応とプロジェクトマネジメントの徹底
- 事業ポートフォリオ改革の加速